

# 「地域福祉サポートセンター」開所へ

～「坂北荘」を住民参加型の新しい活動拠点に～

筑北村が進める坂北荘の業態変更に伴う「高齢者自立支援センター」構想のもと、社協としての係わりかたを検討してきましたが、「お互いさまの精神」で相互に助け合うしくみとしての「有償サポート活動」を基軸にした、ボランティアの中心的活動拠点である「地域福祉サポートセンター」を設置することになりました。これにより、従来からご活躍いただいているボランティア

社協ではこの九月一日、社協有償サポート活動と配食サービスの拠点として、また、光をそそぐ支援事業による要援護者相談支援事業の拠点として「地域福祉サポートセンター」を坂北荘に開所します。

イアのみなさまに加え、これからボランティア活動をしてみようという方の総合的な支援ができることを期待しています。

同時に要援護者相談支援員も在籍し、地域に出向いたニーズ調査を通じて、社協がみなさまの「つなぎ」役になる活動を展開していきます。

とかく「坂北荘」に関しては、地理的に遠いイメージを持たれていますが、これからの活動により、そのイメージを取り除き、みなさまの新しい憩いの場所として、一緒に育てていきたいと考えています。

**震災義援金受付中** (社協各支所窓口にて)



平成23年8月19日  
 そよかぜ委員会事務局  
 筑北村社会福祉協議会  
 電話：66-2506  
 www.chikuhoku-shakyo.or.jp

社協の運営に欠かせない財源として、住民の方々にお願いしている「社協会費」があります。これは社協が、地域住民の福祉向上を目指し、住民の方々と一緒になって活動するために設置された組織であるためです。

## 社協の矛盾を的確に指摘

えで会員になっていただくのが「スジ」というものです。この根本的なことをせずに、社協のPRばかりしていたことは、社協自身が民間になりきれいでなかった証拠ではないでしょうか。

今年度の会費納入については、既に従来の方法でお願いしてしまいました。今回の指摘も、そうした中からいただいたものです。地域の役員の方にはご迷惑とお手間をおかけし、誠に申し訳なく思っておりますが、今後の地域福祉活動強化計画に加えた社協改革の中で、よりよい体制を整えていきたいと考えており、それまでの間、みなさまのご理解とご協力をいただきたく、お願い申し上げます。